

2) ジフェニルアルシン酸の分析結果

①A 井戸周辺について

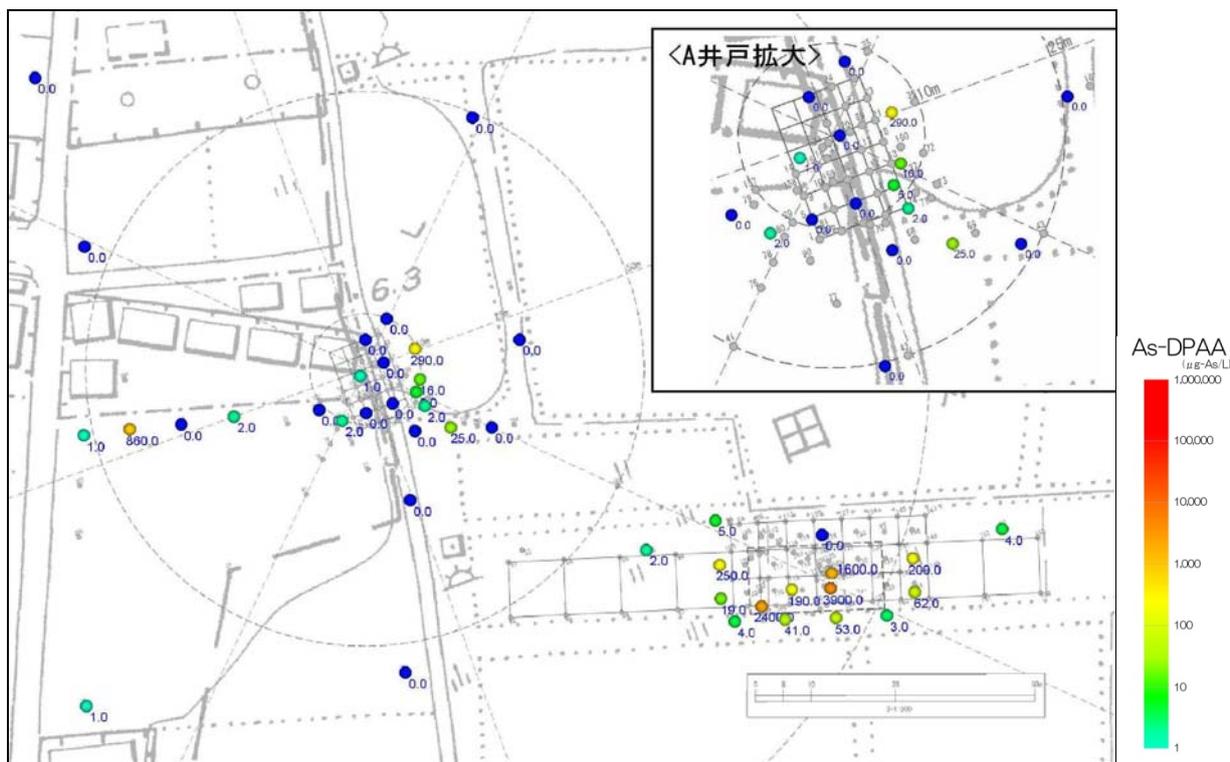
A 井戸付近で最も高濃度を示したのは A 井戸の南東 10mにある No37 の深度 30mで 20.0mg-As/L (前回 0.42mg-As/L)、次いで、その直近の No72 の深度 30mで 12.0mg-As/L (前回 2.0mg-As/L) ある。

これまで比較的高濃度が連続している A 井戸の南西 10mの No39 の深度 30mは、4.0mg-As/L (前回 6.2mg-As/L) とやや濃度が低下している。2007 年夏季から 5.0~18.0mg-As/L の比較的高濃度で推移していた A 井戸直近の No34 の深度 30mは、0.14mg-As/L と濃度がかなり低下した。

また A 井戸から南東に約 20mにある No69 の深度 30mは、9.4mg-As/L (前回 2.1mg-As/L) と濃度が上昇している。同様に、A 井戸から南に 25mにある No42 では、深度 30mで 1.5mg-As/L (前回 1.7mg-As/L) と、観測開始以降、変動はあるものの上昇傾向にある。

グラウンド北西角の No.27 の深度 30mは、0.35mg-As/L となり、2008 年冬季より 2.1⇒0.76⇒0.95⇒0.44⇒0.35mg-As/L となり、最近 1 年ではやや低下傾向にある。

また、2008 年夏季の観測で初めて 0.11mg-As/L (深度 30m) の汚染が確認されたグラウンド南西角の No.28 では、0.001mg-As/L となり、前回 (0.002mg-As/L) に引き続き、非常に低濃度が確認されている。グラウンド南東角の No.29 の深度 30mも、0.002mg-As/L となり、前回 (0.024mg-As/L) と引き続き低濃度の汚染が確認されている。



A 井戸周辺地下水 DPAA 汚染状況図 (GL-10m)